

**製品名: MEK-7 (リン酸化 Ser271) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05012**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K7
別名	MAP2K7; JNKK2; MEK7; MKK7; PRKMK7; SKK4; Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 7; MAP kinase kinase 7; MAPKK 7; JNK-activating kinase 2; MAPK/ERK kinase 7; MEK 7; Stress-activated protein kinase kinase 4; SAPK kinase 4; S
遺伝子 ID	5609.0
SwissProt ID	O14733
免疫原	抗血清は、ヒト MAP2K7 の Ser271 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 236-285

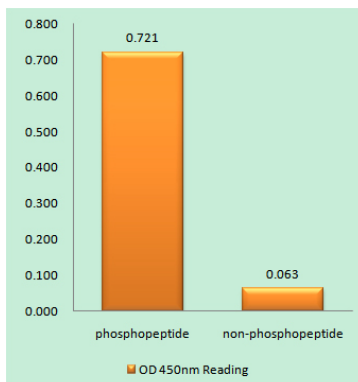
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼキナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼです。このキナーゼは MAPK8/JNK1 および MAPK9/JNK2 を特異的に活性化し、MAP3K1/MEKK1、MAP3K2/MEKK2、MAP3K3/MEKK5、MAP4K2/GCK などの MAPキナーゼキナーゼによってリン酸化・活性化されます。このキナーゼは、炎症性サイトカインや環境ストレスに対する細胞応答を媒介するシグナル伝達に関与しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2014年7月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: MAP3K1/MEKK1、MAP3K3/MEKK3、MAP3K11/MLK3、MAP3K12/DLK などの特定の MAPキナーゼキナーゼによるリン酸化によって活性化されます。機能: ストレス活性化、JUNキナーゼ MAPK8/JNK1、MAPK9/JNK2、MAPK10/JNK3 を活性化する二重特異性キナーゼ。PTM: Ser/Thr のリン酸化によって活性化されます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAPキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 普遍的。骨格筋で最も高い発現レベルを示す。アイソフォーム 3 は、胎盤、胎児肝臓、骨格筋に低レベルで存在する。、

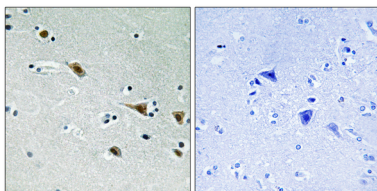
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;ErbB\_HER;Toll\_Like;T\_Cell\_Receptor;Fc\_epsilon RI;神経栄養因子;GnRH;

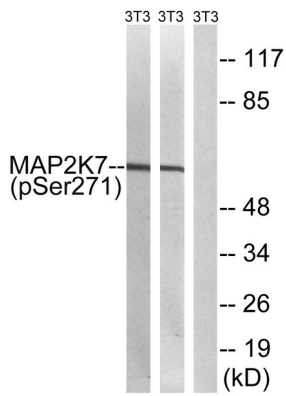
## 画像データ



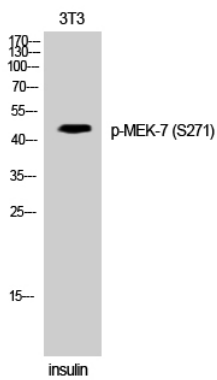
MAP2K7 (リン酸化 Ser271) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



MAP2K7 (リン酸化 Ser271) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した NIH/3T3 細胞と EGF 200ng/ml を 30 分間処理した NIH/3T3 細胞のライゼートを MAP2K7 (リン酸化 Ser271) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 MEK-7 (S271) ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析